



全力が未来(学校)を変える

新しい年のスタートは、誰もが大きな夢と希望に満ちあふれていることでしょう。でも、本年度の本校は、昨年度からの課題を残したまま、“大きな希望とちょっぴりの不安”を抱えてのスタートとなりました。

しかし、始業式で生徒会スローガン「OVERCOME MYSELF ～全力が未来を変える～」が発表され、翌日の入学式には、校舎に掲げられた横断幕が新入生を迎えてくれました。そして、このスローガンの下、体育祭や合唱コンクールなどに全力で取り組む生徒たちの姿がとても頼もしく見えました。“不安”はいつしか“自信”に変わり、徐々に学校が落ち着いてきました。生徒会スローガンを達成したと言えるでしょう。

先日、第86回選抜高校野球大会が開幕しました。開会式では、出場32校を代表して、広島新庄高校の中林航輝主将が選手宣誓を行いました。下にその全文を紹介します。

これまで多くの先輩が勇気を与え続けてくれた甲子園。今、私たちは、子どもの頃からあこがれてきたその甲子園という最高の舞台に、最高の仲間とともに立っています。ここに立っているのは古里の皆さんをはじめ、たくさんの方々の支えがあったからです。その方々への感謝の気持ちを胸に、また全国の皆さんに高校野球を見に行こうと言ってもらえるよう、高校生らしくさわやかに、すがすがしく、正々堂々とプレーします。自分たちの姿が日本の明日への希望となり、夢を追い求める力となるよう、これまでお互いに助け合い、頑張ってきたスタンドの仲間たちとともに最後まで諦めず、力の限り全力で戦うことを誓います。

この宣誓文を、次のように少し変えてみました。(中林君、勝手に変えてすみません)

これまで多くの先輩が歴史と伝統を築き上げてくれた詫間中。今、私たちは、子どもの頃からあこがれてきた中学校という舞台に、341名の仲間とともに立つこととなります。ここに立っているのは古里の皆さんをはじめ、たくさんの方々の支えがあったからです。その方々への感謝の気持ちを胸に、また町内の皆さんに詫中の体育祭や合唱コンクールを見に行こうと言ってもらえるよう、中学生らしくさわやかに、すがすがしく、正々堂々とプレーします。自分たちの姿が詫間の明日への希望となり、夢を追い求める力となるよう、仲間たちとともに、「全力が未来(学校)を変える」ことを信じ、全力で戦うことを誓います。

まもなく平成25年度が終わります。それは、新しい年26年度へのスタートでもあります。全校生一人一人が、上のような気持ちで新年度を迎えてくれれば、きっと今年以上の成長が期待できると思っています。ライバルは、「平成25年度詫間中」です。君たちなら、きっと超えることができます！

お世話になりました

3月20日、香川県教職員人事異動の発表があり、9名が詫間中学校を去ることになりました。

詫間中学校教職員は、“チーム詫間”と呼ばれ、三観地区中学校では、平均年齢が最も若く、仲の良い集団として評判でした。詫中を去るのは寂しいですが、新天地で活躍することが恩返しになると思い、全力で頑張ります。

「♪サヨナラは別れの言葉じゃなくて、再び会うまでの遠い約束」(作詞：来生えつこ)という歌詞のように、いつかまた“浦島の里”で会えることを楽しみにしています。ありがとうございました。さようなら。

氏名	教科等	転任校等
安藤 紳一	教頭	まんのう町立琴南小学校
丸岡 澄子	英語	三豊市立三野津中学校
藤川 幸一	社会	三豊市立三野津中学校
大川 匡則	理科	三豊市立豊中中学校
矢野 香	英語	退職
岡原 秀和	数学	まんのう町立満濃中学校
阿川 侑平	社会	善通寺市立東中学校
篠原ゆきみ	美術	香川県立高松養護学校
マシュー	ALT	(未定)